

評価の流れと評価の考え方について（全体像）

資料 1

業務実績報告書
(財務諸表含む)の提出

- 法人は、年度計画の小項目ごとに業務実績、自己評価を記載
- 法人は、自己評価に当たって、目標値や実績値との比較だけでなく、取組等についても考慮し、総合的に評価

財務諸表について
法人からの説明

《小項目評価》	
年度計画より大幅に上回って実施している	→ 5
年度計画より上回って実施している	→ 4
年度計画どおり実施している	→ 3
年度計画より下回っている	→ 2
年度計画より大幅に下回っている、 又は実施していない	→ 1

財務諸表について
質疑・応答

財務諸表について
意見の協議

- 市長は、財務諸表を承認するときに、評価委員会の意見を聞くこととなっています。

財務諸表について
意見の決定



「財務諸表の承認に関する意見書」の作成・承認

小項目自己評価について
法人からの説明

- 評価委員会は、小項目ごとの業績を総合的に評価

小項目評価（29項目）
協議・決定

《小項目評価》	
年度計画より大幅に上回って実施している	→ 5
年度計画より上回って実施している	→ 4
年度計画どおり実施している	→ 3
年度計画より下回っている	→ 2
年度計画より大幅に下回っている、 又は実施していない	→ 1

大項目評価（4項目）
協議・決定

- 評価委員会は、小項目評価に基づき、大項目ごとに中期計画の実現に向けた進捗状況进行评估

全体評価
協議・決定

項目別評価を踏まえ、
総合的に評価し、記述

《大項目評価》	
著しく進捗している、又は大幅に超える成果を出している (全ての小項目評価が3~5で、特に認める場合)	→ S
順調に進捗している (全ての小項目評価が3~5の場合)	→ A
おおむね順調に進捗している (小項目評価における3~5の割合が概ね9割以上)	→ B
やや遅れている (小項目評価における3~5の割合が概ね9割未満)	→ C
大幅に遅れている (評価Cと同じく9割未満で、特に認める場合)	→ D

評価結果報告書